

12月

ハニ養だより



青森県立八戸第二養護学校
令和5年11月24日

成長を感じて

校長 工藤 誠志



中学部の校内実習を見せてもらいました。生徒の真剣な取り組みの姿を目にして一人一人の成長を感じました。自分で決めた目標に向かって取り組むこと、作業手順を理解して取り組むこと、作業の終了や困ったときに報告や相談することなどができるようになっています。生徒は、無言でサッサッと作業の準備をします。準備が終わると、作業を開始します。休憩時間の生徒たちとは明らかに違って、どの生徒を見ても自分のやるべきことに集中していることが分かりました。生徒の報告や相談にすぐに応じられるように静かに見守っている先生方もすばらしいなあと思いました。環境整備班のある生徒は、先生の指示を聞いてモップの握り方や向き、力のかけ方に注意して廊下を進む姿に大きく成長していると感じました。また、紙すき班のある生徒は、参観に来た私にこれから始める作業の手順や注意することを教えてくれました。授業に自信をもって取り組んでいるからできる説明だと感じました。指導している中学部の先生に聞いてみると、「生徒が作業に興味をもっていて、授業を楽しみにしています。」と教えてくれました。授業に喜んで取り組むことのすばらしさ、将来に必要な働く力を高めていくことができる可能性を感じてうれしくなりました。生徒のこれからのさらなる成長が楽しみです。



学びと配慮

暑い暑いと思っていたら急に寒さがやってきて、今年もうみねこ塾までの通路の桜の葉は、あっという間に赤色に変化しました。風が強いと、児童生徒玄関の風除室内やスクールバス駐車場は落葉でいっぱいになります。いちい寮とうみねこ塾の御理解により学習の場と機会をいただいて、中学部の生徒たちが作業の一環でうみねこ塾の通路やその周辺の落葉を集め清掃をしています。作業で通路等はきれいになります。また、朝や昼に事務部の職員が滑って転んだりしないように風除室等の落葉をきれいに清掃しています。生徒や事務部の働きがあるからこそいつと変わらないきれいな風景があるのです。作業お疲れさまです！



おいしさの提供

私は、毎日提供する給食に不具合がないかどうか確認するために、子供たちより早く給食を食べています。確認の結果を伝える際に、栄養士さんから提供する給食がさらにおいしくなるようにしている話を聞きました。先日は、椎茸の種類を変更したそうです。同じ乾燥椎茸でも、調理するときの戻り具合やうまみの状況を厨房の方々と意見交換をしながら改善しているそうなのです。椎茸が変わってから確かに食感やおいしさが増したことが分かりました。日々の努力が大事なのですね。おいしい給食を調理、提供してくれる厨房の皆さん、栄養士さんに感謝です。

